

# クイーンズランド大学語学研修報告

(2017.2.11～3.20)

2月11日～3月20日の5週間の日程で、本学から18名が、オーストラリアのブリスベンにあるクイーンズランド大学(UQ)のICTE-UQに語学研修に行ってきました。

## UQでの様子

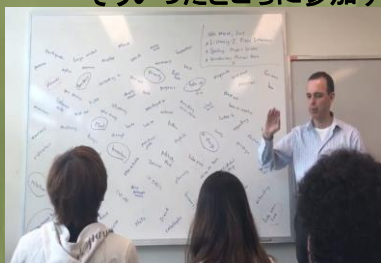
### ・授業の様子

授業は15～20名程度のクラスで行われました。クラス分けは、授業の初日にテストがあり、その成績により決まっていた。レベルは1から7の7段階で分かれており、工織大の学生はほとんどの人はレベル3～6に振り分けられていました。日本では春休みということもあり、全体としてかなり日本人の割合が多かったですが、レベル5や6のクラスでは海外からの留学生も多くいました。

朝の8時15分から授業が始まり、2時間×2コマ(授業間休憩30分)で一日の授業が終わります。内容は担当の先生により様々ですが、大まかには曜日ごとにスピーキング、ライティング、リーディング、リスニングを学習するカリキュラムになっていました。スピーキングでは日常的なわかりやすいトピックで会話などをしました。クラスによってはグループディスカッションを多く取り入れているところもあったようです。日本で学ぶ英語と一番違っていたのは自ら英語で発信する機会が多かったことです。例えば日本人が多くても、みんな英語を学びに来ているので、授業中は自ずと英語のみで会話していました。休み時間は30分と長めの時間だったので、食堂に行って軽食をとったり、キャンパス内を散歩したりもしました。

### ・アクティビティの様子

授業が終わった後には、留学生向けに日替わりで様々なイベントが企画されていました。映画鑑賞や英会話クラス、スポーツなどがありました。参加不参加は自由で、人によって行ったり行かなかったりでした。ここでも日本人はやはり多かったですがアクティビティを通してクラス以外の留学生と仲良くなれたという人もいました。また、学校が主催する以外にも、学生の団体会話などのクラスを開いているところもあり、そういったところに参加する人もいました。



### ・ホームステイ

ホームステイでお世話になるファミリーの家族構成は様々でした。マザーだけの家もあれば、何人も子供がいる家もありました。ペットを飼っている家庭はかなり多かったように思います。家の作りも様々でプールがついている家にホームステイしている人もいました。ホームステイのファミリーとは一日の出来事を話したり、文化の違いについて話し合ったり、テレビや映画を見ながら話したりといろいろな会話をすることで英語をたくさん使うことができました。また、観光地など地元のことをいろいろ教えてくれ、週末にはホストファミリーと一緒に出かけられる人もいました。





## 授業以外の時間の過ごし方

平日の午後と土日は授業はないので、いろいろなところに行ったりしました。

平日は、アクティビティに参加したり、学校の近くのシティに遊びに行ったりすることが多かったです。クラスによっては集まってバーベキューをしたり、お酒を飲みに行ったりしました。

土日には泊まりで少し遠いところに出かけたりもしました。ゴールドコーストにサーフィンに行ったり、モートン島でシュノーケリングをしたり、飛行機でシドニーに行く人もいました。テーマパークもいくつかあったので行く人が多かったです。学校から安く参加できるツアーもありました。自分で英語を使いながら旅行の予約などをするのもいい勉強になったと思います。



## プログラムを通して学んだこと、悩んだこと 後輩へのメッセージ

私は運良くLevel.6のクラスに配属されたので、多くの日本人以外の外国人留学生と交流する機会がありました。同じクラスに日本人の学生ももちろんいましたが、休憩時間や授業後の時間など、できるだけ外国人留学生と一緒に過ごすことを心がけました。私のクラスにはインドネシアから来た留学生が二人いたので、たいていは彼らと行動を共にしていました。一緒に行動していると、彼らの友人で、同じインドネシアから来た他の留学生と知り合うことができました。日本人同士で固まりがちですが、できるだけ外国人留学生と一緒に過ごしていれば、それだけ多くの友人に出会うチャンスがあると思います。私は、せっかくオーストラリアに行くのだから、日本人以外の友人を作りたいと考えていたので、多くの友人に出会えて本当に嬉しかったです。

また、実際に現地に行ってみて、自分がどの程度英語を使うことができ、理解することができるか客観的に把握することができました。自分の話す英語がどの程度ネイティブの方に通じるのか、またどのように話せば伝わるのかがわかったことで、今後どのように英語学習を進めていけば良いのか、自分の中での指標を得ることができました。

加えて、出国前はホストファミリーとうまく意思疎通を図れるかどうかとても不安でしたが、実際に会って話してみると、日常会話より比較的ゆっくりと、そしてはっきりと話して下さり、私が聞き返すとより理解しやすいように平易な表現で伝えてくださいました。

自分の英語力に自信がなくても、このプログラムに参加することで具体的に何が不足しているかを知ることができますし、今後どのように英語を習得していけばよいかが見えてくると思います。5週間は長いようであっという間です。思いつくことはすべてやってみる気持ちで、密度の濃い5週間を過ごしてください。(3回生)



あと先をあんまり考えずにいろんな人といろんなことをしてみるといいと思う。観光地を巡る時間は十分あるので、せっかくだから全部回る勢いで行動したらいい。ゴールドコーストもちょっと遠いが良いところだったので、ぜひゴールドコーストで一泊してみると良い思い出ができると思う。

私は最初の三週間はマザーと二人きりだったので、家にいる時は私が話さなければ全く会話が成り立たなかったもので、毎日英語を話そうと、スピーキングの練習になりました。これは日本ではなかなかできないことなので、一番の収穫かと思えます。同時に自分のスピーキング能力の低さも思い知りました。文法が間違っていようと、単語が思い出せなかりょうと、とにかく口に出してみることが大事だと思いました。

ホームステイなど、不安に思う人もいるとは思いますが、サポート体制がしっかり整っていて、必ず誰かが助けてくれるのでなんとかなります。安心して思いっきり楽しんだらいいと思います。ちなみに私は向こうで二回忘れ物をしたのですが(スマホとWi-Fi)どっちも戻ってきました。プリズベンはいいところです。(1回生)



向こうで使える携帯を持っていくと便利ですが基本WiFiが通っているので無理して持っていく必要はありません。ただ、僕のホームステイ先のWiFiが後半壊れたりwifiが通っていないところで道に迷ったりした時非常に不便だったので心配な人は持っていくといいと思います。

オーストラリアは日本に比べ水が不足しているのでは家によっては洗濯が週に一回なので服多めに持って行ったり事前にホームステイ先のメールアドレスが教えられるので確認しておくことをお勧めします

ブリスベンには回転ずし、日本食屋、ダイソーがあり日本食はほしくなったら簡単に手に入るの無理して持っていく必要はないと思います。

最初の二日三日は言葉も通じないし異文化のホームステイ先にとまどい早く帰りたいと思うかもしれませんが一週間もすれば向こうの生活にも慣れ本当に楽しい留学生活がおくれると思います。(1回生)



このプログラムを通して、英語はもちろんオーストラリアの文化など様々なことが学べたと思います。英語の学習としては、新しいことを学んだというよりは、今の自分の英語がどれだけ通用するのかを知ることができたという実感が強いです。また、ホームステイではオーストラリアの人の暮らしを直に見ることが出来ました。

プログラム中は何か困ったことがあればホストファミリーに相談していたので、5週間なに不自由感じることはありませんでした。ただやはり物価が高いのでお金の悩みはありましたが、お弁当を自分で用意したりしてなんとか頑張りました。毎日楽しくて、日本に帰りたいなどと思うことのないくらい充実した5週間でした。オーストラリアは人が本当に優しいので海外に行くことに不安のある人でも安心して行ける場所だと思います。少しでもこのプログラムに興味があって参加できる環境があるなら、迷わず参加することをお勧めします。(1回生)

言語や文化、様々な人々の考え方など日本では学ぶことが出来なかったであろう様々なことを学ぶことが出来ました。また、留学を通してたくさんの経験をし、自分に足りないものは何か、何ができて何ができないのか、自分自身をよく知ることができました。総じて、多くのことを得ることが出来、刺激的でとても実りのある5週間でした。

留学に行く前に比べて圧倒的にリスニング力があがったことを実感します。外国の人と話していても、音楽を聞いていても、映画を見ていても、以前は皆無だったのですが、だいぶ聞きとれるようになったことを実感します。そして、リスニング力があがったことで、元々そんなにあったわけでもありませんが、英語に対する恐れも少なくなったように思います。(3回生)



このプログラムに参加して学んだことは、実際に海外に行って英語を話すことで普段鍛えることのできない能力を改善することができたこと。また海外の文化を知ることで日本では当たり前のことが海外では当たり前でないことを知った。悩んだことはやはり慣れるまでは英語を聞くのは非常に難しいので、慣れるまで会話を聞き取れないのがつらかった。留学に参加しようか迷っている人は本当に日本ではできないような経験ができるのでぜひ参加することをお勧めします。(2回生)





非常に満足していますが、もう少しWritingについての細かい授業を受けたかったと考えています。正直に言うと、文法の時間に新しいことを学びたかったです。これは大学外では練習する機会が非常に少なかったからです。

まず、自分が何を目的としてこの留学に参加するのかを事前に考えてください。

僕の目的は英語に触れる時間をたくさん作ることでした。このチャンスは自分で作る事が容易にできたので常に意識して行動することです。

一方で、UQに在籍する日本人の学生さんたちと仲良くなることもとても有意義なことだと思います。僕はフットサルで知り合った日本人の方に誘われたテニスに参加しました。

そこには10人ほどの日本人の学生さんたちがいました。どういう経緯でUQの学生になったのか、どうして留学しようと思ったのかなど自分が知らない世界で過ごしてきた人たちと話せたことは一番刺激的だったかもしれません。とにかく自分がやりたいこと知りたいことを明確にして実践してみてください。

オーストラリア生活は、ホームステイ先やクラスメイトに恵まれ充実した生活を送ることができました。ホームステイは最初不安でしたが英語をロクに使えない自分を温かく迎えてもらえ自分の家のように過ごすことができました。5週間ほどの生活で劇的には英語のレベルは上がりませんが、普段英語を話したり、聞いたりする機会は少ないのでそういった面では自信がついたり、上達した感じがしました。

行くことが決まった人へ

クレジットカードを作ることをお勧めします。JCBは使えないお店が多かったです。VISAの人が多かったです。またお金は少し余分くらい持って行った方がいいです。最後の方に現金が不足している人をちらほら見かけました。携帯はポケットWi-Fiをレンタルしていくか、SIMフリー端末を持っていれば現地でSIMカードを買って使えます。ポケットWi-Fiをレンタルするより安く、データも多く使えます。初日にホストマザーが連れてくれたOptusという会社でSIMカード買いました。現地で7千円くらいで端末を買ってる人もいました。

バスはどこに止まるかアナウンスがないのでホームステイ先の景色を覚えて降車ボタンを押すのですが、夜だと暗くてどこにいるのかわからなくなるので、運転手に行き先を伝えるか、スマホのマップを見ながら乗っていました。交通費は大体1週間で50ドルくらいでした。

洗濯頻度は家庭によって異なります。

コンセントの形が異なるので変換するやつを買うのと、オーストラリアの電圧は日本より高いのでそれに対応するプラグを用意しましょう。

英語で聞き取れなかった時にはわかったふりをするのではなく、ゆっくり言い直してもらったり、分かりやすく説明してもらったり頼みましょう。

ホームステイ先では遠慮しないで過ごしましょう。合わなければホームステイ先を変えてくれます。(1回生)



英語を恐れずに使えるようになったのが大きな成果かと思います。英語の学習のみならず、ほかの国の人との関わり方、文化の違いを知るなどいろいろなことを学びました。また、自分の力で解決しなければいけない環境に身を置くことで、人として少し賢くなれたように思えます。

アドバイスとしては、是非少しでも英語の勉強を積んで留学を迎えて欲しいと思います。どうしてもこの時期は日本人が多くなります。レベル5以上のクラスであれば日本人以外の人の数も多くなるのでレベル5以上を狙ってみてはどうでしょう。話す力を少し付けて留学に行けばだいぶ変わると思います。そして、一番言いたいことは、オーストラリアに行ったら、遠慮せずにいろいろなことに積極的に取り組んでほしいと思います。どうせ5週間しかないのです、毎日忙しいくらいでいいと思います。僕もそんなに積極的な性格ではありませんが、向こうではなるだけ積極的に活動しました。推薦の院試を蹴ってまで留学に行きましたが、十分に院試を蹴るだけの価値はあったと思っています。なので、3回生の方も興味のある方はぜひ参加してほしいと思います。(3回生)

